

令和8年6月7日

日立理科クラブ通信

No.268



日立理科クラブ

理数アカデミー 合同入校式

5月24日(日)、理数アカデミーの18回目の合同入校式が日立市教育プラザで行われました。今年度の受講希望者は、共同開催の UTokyoGSC・Next 萌芽コースへの全国からの応募者を含めて約140名(別途選抜予定)でした。

対面で参加している受講生は、記念に来賓の方々や講師と集合写真を撮りました。

入校式では、来賓の日立市教育委員会折笠教育長から、「全国の仲間とともに多様な考え方にふれて、豊かな学びをしてほしい。オンラインで受講されている方は、ぜひ一度日立を訪れ、科学館やかみね動物園で遊んでほしい。」また、日立理科クラブの瀧澤代表から「アカデミーの先輩たちは社会で活躍している。仲間を作って世界に広がる足がかりをつくってほしい。」と受講生への励ましがありました。

受講生代表は、「理数アカデミーは理科のおもしろさが詰まった場所。課題について、仲間と協議するのが楽しい。」と、理数アカデミーに応募した理由や抱負を述べてくれました。

理科、算数・数学、自由研究の担当者からは一年間の活動方針や先端研究施設見学会(日立ハイテク・オリジンパーク)、茨城大学工学部での特別授業の予定などガイダンスがありました。「算数・数学」では、実生活の中で数学は役立っていることを実感するような問題を設定しているので、考える力を伸ばしてほしい。また、発想を変えると、「ひらめき・思考力・注意力・好奇心」が向上するとアドバイスがありました。「自由研究」では、少し背伸びをして研究者や技術者を疑似体験し、自ら考えて、問題を解決していくという説明がありました。11月15日には自由研究成果発表会も予定されています。

また、東京大学の斉藤先生からは、STEAM型(学校での学びを見直し深めるアクティブラーニング/シニア技術士による実験講義/研究施設訪問等により、技術・工学の視点から学校の学習内容を見直し、STEAMのイメージをつかむと共に、探究的な学び方をする)の学習を進めていくこと、また、萌芽コースは第一段階で第二段階の研究発表との連携も図っていくこと、さらに、川口教室との交流も予定されているとお話がありました。

入校式に対面で参加している受講生も、オンラインで参加している受講生も緊張した面持ちで話を聞いており、意欲的に取り組もうとしているのが伝わってきました。



理科クラス



算数・数学クラス



自由研究コース



折笠教育長

瀧澤代表と来賓の方々



受講生代表挨拶

ガイダンスを熱心に聞く受講生